

# 安心・安全 info

発行：自然社

〒064-0914

札幌市中央区

南14条西8丁目1056番1

Tel.011-562-0606

Fax.011-562-0808

防犯対策に携わる人のための三二情報誌

http://www.shizen-sha.co.jp

2011.5

## 警戒！震災に便乗した 詐欺・悪質商法等の横行

3月11日14時46分、東北地方から東関東地方の太平洋沿岸を襲った大地震「東北地方太平洋沖地震」。地震の揺れのみならず大津波や火災などによって各地に壊滅的な被害をもたらした。

多数の死者・行方不明者を出し、多くの被災者や避難民をうむ未曾有の大災害となりました。頻発する余震、原子力発電所の損壊とその影響などにより、いまだ被災が続いていることは連日報道されている通りです。

このような緊迫した状況にもかかわらず、被災地では大きな暴動や略奪行為などもほとんど見られないばかりか、多くの被災者は冷静さを失わず、互いに助け合う姿も見られるなど、日本人の穏やかで協力的な国民性は、海外メディアからも大いに讃えられるところとなりました。

### 善意を踏みじり、不安につけこむ犯行手口

ところがこうした美談の一方で、震災に便乗して悪事を働く者が出てきました。

義援金をめぐる「詐欺」や家屋のリフォームなどに関わる「悪質商法」、改築費用の融資などを口実にした「融資保証金詐欺」などがそれです。

### 被災者を支援したいとの篤志家の思いに乘じて、

●自治体など実在する団体をかたり、電話で義援金を求め、それら団体が設けた募金振り込み口座とは異なる口座に現金を振り込ませようとするもの

●被災者だと偽り、インターネットや電子メールで広く支援を呼びかけ、現金を振り込ませようとするもの。

●売上げは義援金にするなどと

偽って、被災地産の果物の購入を求めると。

●運営利益を義援金にするといううたい文句で、高齢者向け施設建設に向けた資金の拠出を求めると。

### 義援金からみの身内のトラブルを装い、

●息子などになりすまして電話をし、「預かった義援金を紛失した。お金を貸して…」などと言い現金を振り込ませようとするもの。

### 家屋の耐震に不安をもつ人を狙い、

●マンションの管理会社を装って架空の耐震工事料金の支払いを求めたり、リフォーム業者を装って高額な補修工事を持ちかけたりますもの。

### 被災者の不安や困窮につけこみ、

●家屋の補修費や生活費などを貸し出す名目で融資をもちかけ、

返済保証金を入金させようとするもの。

さらに、

●関係者を装い、義援金の募金箱を回収するなど電話を入れ、集まった義援金をだまし取ろうとするものまで…

これらはほんの一例に過ぎません。しかも、このような手口は変幻自在、手を変え品を変えしかけられる傾向にあります。

家や家族、仕事まで失い、余震の恐怖にさらされて日々を過ごす被災者、それら被災者に支援の手を差し伸べようとする心ある人、そんな人々を狙うこうした卑劣で悪質な行為は決して許すことはできません。

市民がこうした犯罪の被害者とならないよう、広く注意を喚起していきたいものです。



# 平成22年中の刑法犯発生状況

# 認知件数158万6千件弱、昭和62年頃の水準にまで減少

警察庁は先頃、平成22年の「犯罪統計資料（確定値）」を公表しました。

これによると、刑法犯の認知件数は158万5856件で、前年に比べ6.9%減少（8年連続減）、平成に入り初の150万件台となり

**減少著しい知能犯、増加が目立つ風俗犯**

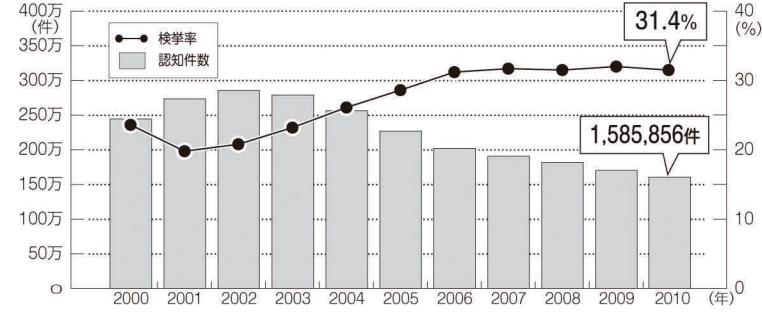
昭和62年代の水準まで回復しました。検挙件数は49万7356件で前年比8.7%減、検挙人員も32万2620人で同3.1%減少しました。

減少著しい知能犯、増加が目立つ風俗犯

「ひったくり」が減少、「万引き」は僅かな減少、「オレオレ詐欺」が大幅増

個別に見ると、ひったくりが前年比23.5%の大幅減少、昨年増加が著しかったコンビニ強盗は19.4%の減でした。また乗り物盗も6.6%減少し、特にオートバイ盗は10.5%減少、車上ねらいも14.1%の減少を見ました。しかし自転車盗（5.6%減）や器物損壊等（4.2%減）は減少幅が小さく、特に万引きは1%

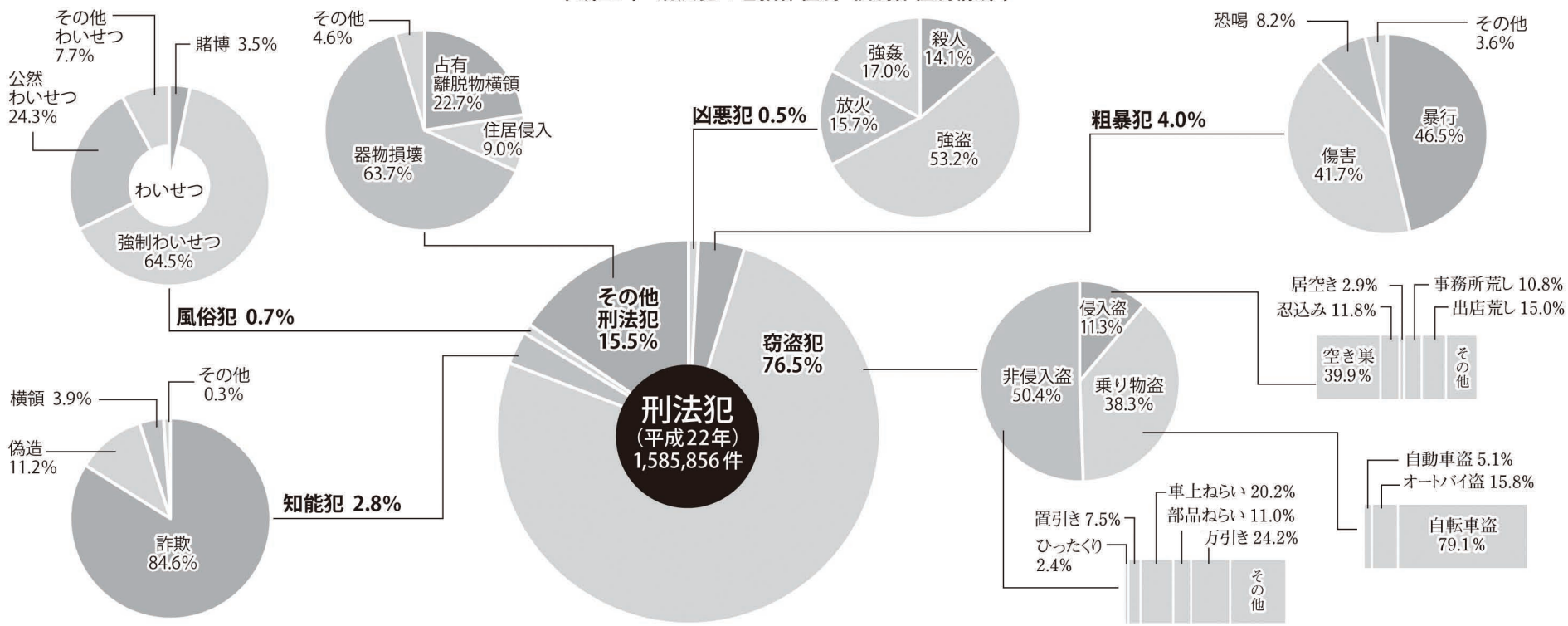
刑法犯の認知件数・検挙率の推移



包括罪種別に見ると、凶悪犯（7576件）は8.9%減少、中でも強盗（4029件）は10%以上の減少でした。また窃盗犯（121万3442件）は6.6%の減少、特に侵入盗（13万6552件）は8%減でした。さらに知能犯（4万4347件）は16.3%の減少、中でも最も多い詐欺（3万7516件）は16.9%の減少でした。

一方、風俗犯（1万893件）は7%増加し、特に強制わいせつ（7027件/5.1%増）と公然わいせつ（2651件/12.5%増）の増加が目立ちました。その他の刑法犯では占有離脱物横領（5万5837件）の11.7%減、略取誘拐・人身売買（185件）の18.6%増が目立ちました。

平成22年 刑法犯の包括罪種別・個別罪種別構成率



# NCN HEAD LINE

## 国内初の万引きに特化した組織「Bmen16」

神奈川県警では、高推移が続く万引きの防止対策として、「防犯設備士」の資格を取得した警察官16人による「Bmen16」を結成。商業施設などで、店舗内の環境設計や経営者・従業員の意識・行動など、ハードとソフトの両面において専門知識と技能を持つ防犯設備士の視点で指導を徹底します。

## 少年の検挙人員、人口比で成人の5.1倍

警察庁のまとめによると、平成22年の刑法犯少年の検挙人員は8万5,846人（前年比-4.9%）と7年連続減少し、刑法犯総検挙人員に占める少年の割合は26.6%となりました。しかし、同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員は11.8人で、成人の2.3人と比較すると5.1倍にも上ります。

## 広がる防犯ボランティア、全国270万人

「犯罪の起きにくい社会づくりの推進状況」（警察庁）によると、平成22年末の全国の防犯ボランティア団体は4万4,508団体で、その構成員は270万1,855人にも上ることがわかりました。構成員の年齢は60歳代が半数以上を占めており、同庁では会社員など働き盛り世代の増員も目指す方針です。

## ネットを使った義援金募集詐欺に注意喚起

神奈川県警では、東日本大震災の義援金募集を装ったフィッシングサイトや勧誘メール等による詐欺被害を未然に防ぐ狙いで、県下関係49団体に「セーフティーメッシュかながわ通信」を、各警察署等には「サイバー犯罪対策通報」を使い、注意を喚起しました。

## 犯罪収益移転防止法の一部改正案が閣議決定

「犯罪による収益の移転防止に関する法律の一部を改正する法律案」が3月11日閣議決定されました。多発する振り込み詐欺に電話転送サービスが利用されるケースが多いことから提出されたもので、成立すれば電話転送サービス事業者が金融機関等と同様、特定事業者として規制対象に加わります。また、特定事業者の取引時の確認事項が増え、預貯金通帳の不正譲渡等の罰則も強化されます。

NCN HEAD LINE は、関係機関・団体などのHPを参考にしてまとめたものです。

**ご注意ください。**  
 当社の防犯啓発商品に掲載した文章・イラスト・写真等を許可無く転載し、製作・販売している業者にご注意下さい。また、お客様のご発注により他の企業で作成された製品の中に、その企業が当社製品を許可無く転載、使用するケースも見受けられますので併せてご注意ください。

## 「ネット空間」にも不安、愛媛県警の治安調査から

愛媛県警は先ごろ、運転免許の更新時講習の受講者2009人を対象に「安心・安全」をテーマにしたアンケート調査を行いました。

地元治安については「良い」と「どちらかと言えば良い」が9割を占めているものの、犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所として「繁華街(55%)」、「路上(42%)」と続き、3位には「インターネット空

## あの手の手で撃退！振り込め詐欺対策のいま

●神奈川県警の捜査で、息子などを装う振り込め詐欺犯からの初回の電話が午後11時以降であるケースが急増していることが判明。判断力が落ちてくる就寝中を狙ったものとみられ、県警では標的にされやすい高齢者に注意を喚起しています。

●埼玉県警大宮署では、電話の着信があるたびに流れるメッセージやライトの点滅によって振り込め詐欺への注意を喚起する装置の開発を外部依頼し商品化しました。自分でメッセージを吹き込むことも可能な録音機能付きです。

●警視庁では、警察官などを装った高齢者などからキャッシュカードを詐取する手口が急増したため、留守番電話の活用を呼びかけています。詐欺グループが留守番電話にメッセージを残さないことに着目した対応策です。



活動内容をお寄せください。

みなさまが行っている防犯対策や取り組み、地域の活動状況などを編集部(30)係までお寄せください。この「安心・安全」はご紹介させていただきます。また、活動を収めた写真がございましたら併せて掲載させていただきます。

## 新聞と一緒に関心・安全も配達

福岡県筑後署管内(筑後市、大川市、大木町)の新聞各社の販売店21店舗が、配達時に街頭犯罪に目を光らせる「ちびっくNEWSパトロール隊」を結成しました。配達員は朝

## 毎年繰り返し返される犯罪件数の増減パターン

セコムホームページのコラム「データを読む」では、過去の統計から年間でも最も犯罪が少なくなるのが2月で、3月から増加に転じ、5月あたりでピークを迎え、その後やや落ち着き10月にもう一度ピークを迎えるといった動きを、ほぼ毎年繰り返していると紹介しています。刑

法犯の多くを占める窃盗犯が同様の動きを見せており、「ドロボーは春と秋に暗躍する」のが慣わしなのでしょう。



## 弱者を守る各地の取り組み

●県内で昨年、暴行事件が相次いだことから香川大学(香川県)では県警に依頼し、新入生の女子全員を対象に性犯罪から身を守るための講習会を開催しました。「オート

ロックだからと過信しない」など防犯の心構えについて講演が行われたほか、護身術の指導も行われ、女性警察官が襲われたときの振りほどき方を細かく実演。初めて人暮らしを始める女子の新入生には不安解

し練習させました。

●神奈川県教育委員会の「いじめ・暴力追放アドバイザー」が県内の幼稚園で防犯教室を開催。不審者に遭遇したら、「へそに力を入れて大きな声で『嫌だ』と叫ぶ」「20メートルほど走る(周囲の目に留まりやすい)」、「体を右のように丸めてうづくまる」「重心を低くし連れ去られにくい」の3点を園児に繰り返し練習させました。

## 川柳後記

編集後記に代え、防犯をテーマにした川柳はいかがでしょう。

地震後に 耐震強化と

ベル鳴らす(悪質リフォーム詐欺)

世のために 使えその知恵

その頭脳(詐欺担当警察官)

詐欺じゃない(金ない、振り込め)

わが子から(それが現実)

怖いのは 地震犯罪

うちの嫁(マグニチュードQ)

万引き犯 捕えてみれば

小学生(低年齢化)

SNS 夢中になって

SOS(見えない畏)

ひったくり ついでに私も

持つって(婚活宣言)

虎の子を 殖やすつもりが

減らされた(未公開被害者)

さみしくて 怪しい電話

相手にし(はじめての一人暮らし)

子のためと 働きの出で

子を忘れ(共育ママ)